

2010 年度秋学期 チューター業務を振り返って

所 属	社会学部	社会福祉	学科
担当科目	社会福祉基礎演習		

<秋学期を振り返ってのまとめ 仕事内容・気づいたこと・感想 など>

秋学期の授業では3人1組の小グループで研究発表を行う方法で授業が進められました。授業はみんなと同じように発表を聴き、ディスカッションに参加して話を広げてみたり、気づきを具体的に話してみたり1回生と意見交換し、最後に発表者への感想を発表していました。秋学期最後のチューター企画では「私の卒業研究を振り返ってー大学で学ぶということー」をテーマに全体クラスで卒論が完成するまでの取り組みについて発表しました。

社会福祉基礎演習では大学で学ぶ基礎を身につけるということで、研究や発表方法、ディスカッション、ディベートなどさまざまな方法に挑戦できる授業であり、1回生にとって初めてのことが多かった様子でしたが、意見を求められるとしっかり自分の意見を発表できていましたし、少人数のグループを作ることで春学期よりもまとまりができていたように思いました。発表内容も、今回調べることによってそれぞれの内容により興味を持つことができたという意見も聞くことができましたし、福祉を学ぶ楽しさを実感できたのではないのでしょうか。研究方法は文献よりもインターネットを使つての資料が多く、古い資料を使つていたり情報としてはまだ十分でないという先生からの指摘であったり、発表者自身発表している中で疑問点が出てきたりと不備に気づき、今後の研究や発表にとっても良い経験ができたと思います。

最後のチューター企画では卒業研究の振り返りについて発表させていただきましたが、1回生にとってはまだまだ先のことであり実感も湧かず、難しく感じてしまったかもしれませんが感想を読ませていただいた中で、なんとなくであっても4回生の雰囲気を感じ、これからの大学生活を有意義に過ごそうと計画してくれているようであり、1年間チューターとして関わって良かったと感じました。1回生と関わりアドバイスすることで、自分たちの授業を振り返ることであったり、大学生活全体を思い返すことができ、私にとってもとても貴重な時間になりましたし、卒論前に初心に戻り気づきを与えてくれる授業でもありました。この授業で4回生のチューターが関わったことで、より大学生活を充実させ、楽しんでもらえるきっかけにしたいと思います。ありがとうございました。

<今後のチューターまたは先生への提案>

今後のチューターのみなさんへ。

チューターとしてどう1回生と関わっていけばよいのか、わからないこともあるかもしれませんが、チューターさんが積極的に話しかけてあげてください。チューター企画や発表の時、難しく考えすぎず、大学生活での印象に残った出来事や思い出、今までの経験が良い材料になります。自分らしさを大切に頑張ってください。